

「内視鏡摘除後大腸SM癌の転移・再発に関する
多施設共同研究」
プロジェクト研究班
第2回委員会

2013.7.4
第79回大腸癌研究会(大阪)

本日の内容

1. 中間報告(2013. 4. 1-6. 13日分)
2. アンケート調査ご協力をお願い
3. その他

「内視鏡摘除後大腸SM癌の転移・再発に関する多施設共同研究」
プロジェクト研究班 第2回委員会

本日の内容

1. 中間報告(2013. 4. 1-6. 13日分)
2. アンケート調査ご協力をお願い
3. その他

「内視鏡摘除後大腸SM癌の転移・再発に関する多施設共同研究」
プロジェクト研究班 第2回委員会

大腸癌治療ガイドラインの妥当性

大腸癌治療ガイドライン2005年度版、及び大腸癌
取り扱い規約における大腸SM癌内視鏡摘除後
の追加腸切除考慮基準について、これまでの中
期経過の解析からのその妥当性については十分
な評価を得ている。

大腸癌治療ガイドラインの問題点

大腸SM癌内視鏡摘除後の追加腸切除が考慮される場合、依然としてoversurgeryとなっているという問題点も指摘されている。

その理由として、仮に追加腸切除を行わずに経過をみて転移や再発を生じた際の追加腸切除などのsalvage治療により、根治、または予後の改善が可能か、というエビデンスが得られていないからである。そのため再発の危険性が少しでもある場合、積極的に追加腸切除を行わざるを得ないという現状がみられている。

研究・調査方法

対象施設: 大腸癌研究会施設会員全施設

対象症例: 内視鏡摘除単独あるいは内視鏡摘除後追加手術で治療を行った大腸SM癌のうち、2001年から2008年の間に再発した病変に
以下の項目につき後向きアンケート調査を行い、症例を収集し解析を行う

1. 病変の臨床的特徴
2. 病変の病理学的特徴
3. 再発様式
4. 追加治療内容
5. 臨床経過
6. 生命予後、等

本研究の目的・期待される結果 1

内視鏡摘除後経過観察となった大腸SM癌が再発した症例の予後(追加治療の効果)については単独施設での症例は非常に少ないため、エビデンスはほとんどなく、本プロジェクト研究でそのデータの構築を目指す。また、内視鏡摘除単独あるいは内視鏡摘除+追加手術後に再発した病変の臨床病理学的特徴と再発様式・臨床経過を解析するとともに、内視鏡摘除後経過観察中に転移・再発した症例に対するSalvage治療の有効性が明らかとなる。

本研究の目的・期待される結果 2

後向きアンケート調査ではあるが、内視鏡摘除後経過観察中に転移・再発した症例のSalvage治療の成績や生命予後が客観的データとして明らかになり、その情報をガイドラインに盛り込めるとともに、実臨床で患者に説明することが可能となる。その結果、大腸SM癌の治療法選択における正しい患者の理解、大腸SM癌内視鏡摘除後の患者の予後改善など多大なる貢献が得られることが期待される。

アンケート調査結果の中間報告(平成25年6月13日現在)

アンケート御回答施設(計12施設)

恵佑会札幌病院消化器内科(現NTT東日本札幌病院消化器内科)
 群馬大学大学院 病態総合外科学
 岐阜大学 腫瘍外科
 兵庫医大 下部消化管外科
 国立がん研究センター中央病院大腸外科
 北海道大学病院 消化器外科I
 東京女子医大第二外科
 弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座
 東大阪市立総合病院外科
 信州大学医学部外科学講座
 滋賀医科大学消化器外科
 昭和大学横浜市北部病院消化器センター

早速の御回答ありがとうございます

アンケート調査結果の中間報告(平成25年6月13日現在)

アンケート回答結果(計12施設)

再発例 計25例(5施設は再発なし)

性別 男/女:13/12
 平均年齢 63.2歳
 部位 結腸/直腸:15/10
 平均腫瘍径 20.6mm

再発形式

吻合部 :1例
 リンパ節 :9例
 遠隔転移 :8例
 局所再発 :7例(粘膜遺残再発:1例)

リンパ節再発例(9例)

性別 男/女:7/2 平均年齢 62.9歳
 部位 結腸/直腸:4/5 平均腫瘍径 17.3mm
 肉眼型 lp, lsp :3例 ls :1例 Ila+Ilc:3例
 Ila(LST-NG):1例 LST:1例
 深達度 SM-s :2例 SM-m :7例
 脈管侵襲 ly0, v0 :3例 ly+ :4例 v+ :0例
 ly+ and v+ :2例

追加手術 あり:4例 なし :5例(2例でCTx)
 (4例中3例で遠隔転移再々発)

初回治療から再発までの期間 1-69(平均±SD:39.6±26.0)ヶ月
 再発に対する治療 外科手術:4例 手術+CTx:1例 CTx:4例

再々発 遠隔転移:4例(肝:1例、肝・肺:1例、肺:2例)
 原病死 7例(遠隔転移例4例+再発治療CTx3例) 生存例:2例

遠隔転移再発例(8例)

性別 男/女:3/5 平均年齢 61.1歳
 部位 結腸/直腸:6/2 平均腫瘍径 22.9mm
 肉眼型 lp, lsp :4例 ls :3例 Ila+Ilc:0例
 Ila(LST) :1例
 深達度 SM-s :2例 SM-m :3例 SM :3例
 脈管侵襲 ly0, v0 :1例 ly+ :3例 v+ :3例
 ly+ and v+ :1例

追加手術 あり:8例 なし :0例

初回治療から再発までの期間 4-66(平均±SD:25.0±24.8)ヶ月
 転移臓器 肝:3例、肝・肺:1例、肺:3例、骨:1
 再発に対する治療 外科手術:4例 手術+CTx:1例 CTx:2例 BSC:1例

再々発 遠隔転移:3例
 原病死 5例(再々発例:2例)、生存例:3例

局所再発例（7例）:粘膜炎再発1例を除く

性別 男/女:3/4 平均年齢 65.4歳
 部位 結腸/直腸:1/6 平均腫瘍径 22.1mm
 肉眼型 lp, lsp : 1例 ls :3例 l型:1例
 ls+Ila(LSTG) :1例 Ila :1例
 深達度 SM-s :2例 SM-m :5例
 脈管侵襲 ly0, v0 :5例 ly+ :1例 v+ :1例
 ly+ and v+ :0例

追加手術 あり:1例 なし :6例 (1例は手術拒否)
 初回治療から再発までの期間 2-54 (平均±SD:19.3±17.3)ヶ月
 再発に対する治療 外科手術:4例 内視鏡的焼灼:2例、なし:1例

再々発:4例(遠隔転移:3例、吻合部:1例)
原病死 4例、生存例:1例、不明:2例

本日の内容

1. 中間報告(2013. 4. 1-6. 13日分)
2. アンケート調査ご協力をお願い
3. その他

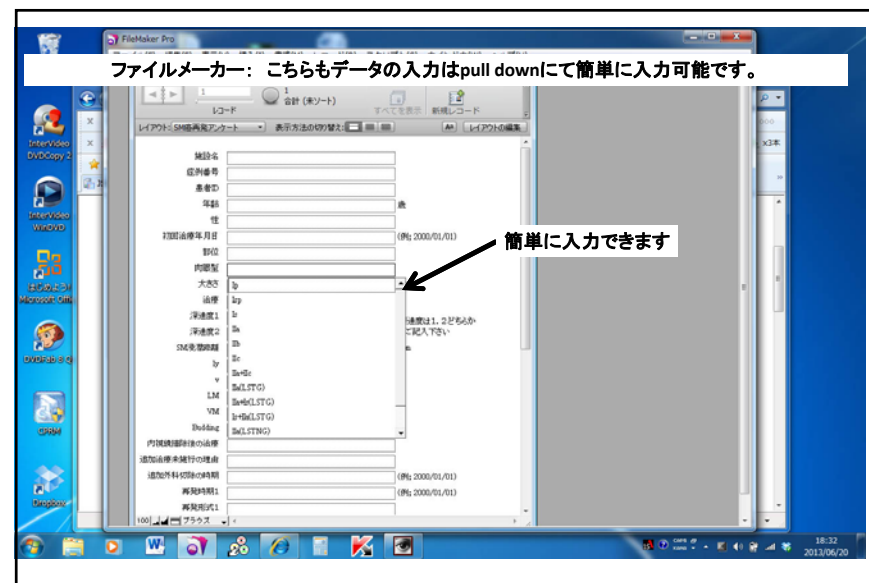
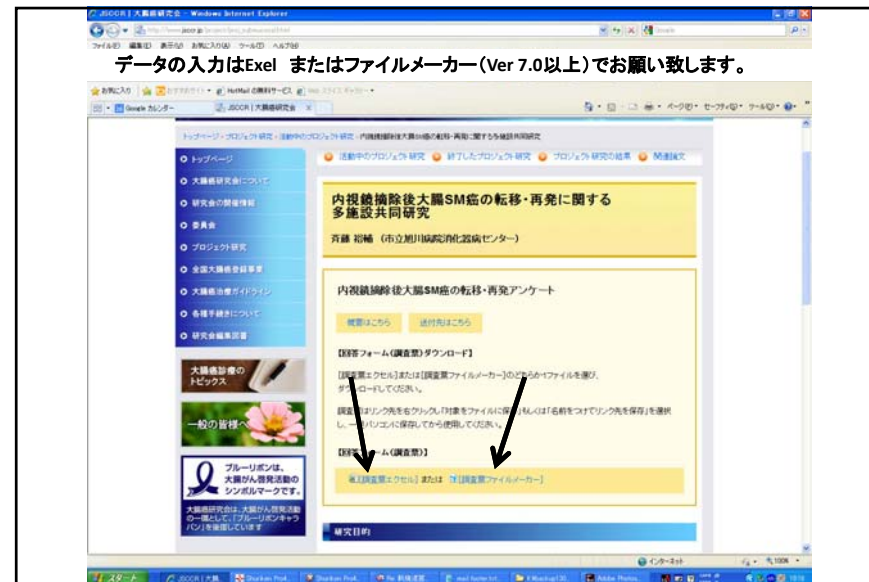
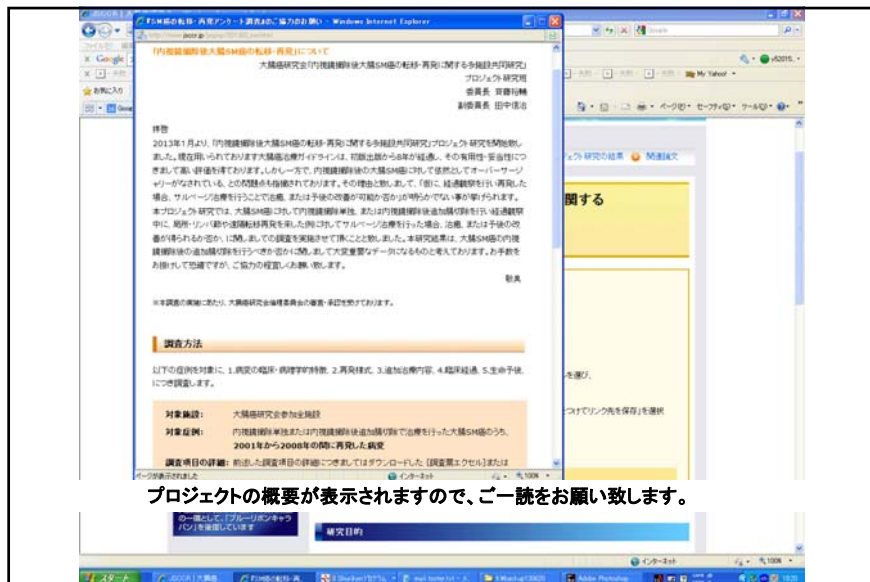
内視鏡摘除後大腸SM癌の転移・再発に関する多施設共同研究
 プロジェクト研究班 第2回委員会

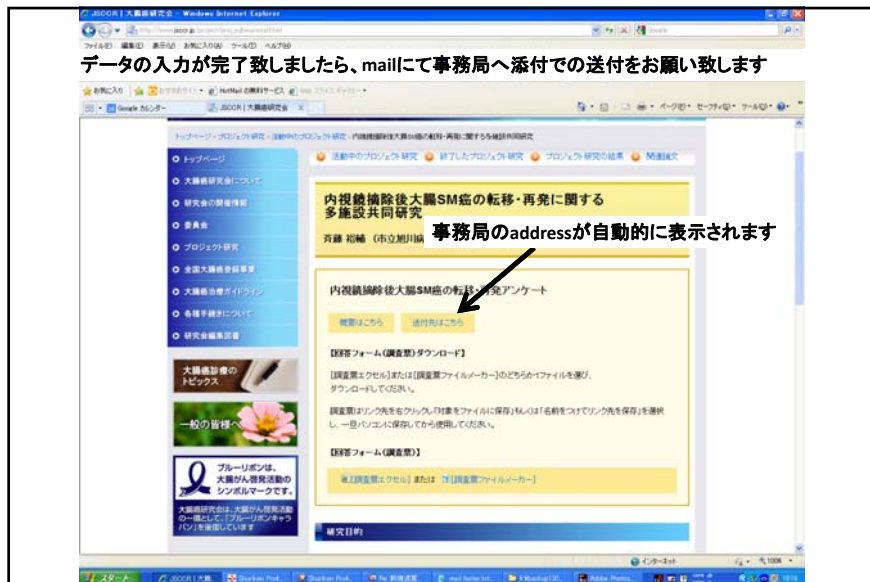
大腸癌研究会のホームページからプロジェクト研究→活動中のプロジェクト研究、をお選び下さい



この画面が表示されますので、「概要はこちら」のクリックをお願いします







**提出期限は
2014年3月までとなっております**

**ご多忙とは存じますが、
何卒アンケートの御回答をお願い致します**

アンケートの御回答をお願い致します

本日の内容

1. 中間報告(2013. 4. 1-6. 13日分)
2. アンケート調査ご協力をお願い
3. その他

**内視鏡摘除後大腸SM癌の転移・再発に関する多施設共同研究」
プロジェクト研究班 第2回委員会**